|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業科目 | 成人看護援助論Ⅲ  （急性期　回復期） | 単位数 | １単位 | 時間数 | 30時間（内15時間） | |
| 担 当 者 | 治郎丸倫子  (臨床経験10年) | 学　年 | １学年 | 開講年次 | １学期 | |
| 目的 | 成人期に起こりやすい健康障害の事例を通して、対象を理解し必要な看護の展開方法を学ぶ。 | | | | | |
| 科目目標 | 1. 手術療法が必要な患者の術前から術後の回復過程をアセスメントし、患者に必要な看護が理解できる。 | | | | | |
| 回数 | 授業計画・授業内容 | | | | | 方法 |
| 1～3回  4～5回  6～7回  8回 | １．胃がんで腹腔鏡下幽門側胃切除術を受ける患者の  術前看護   1. 術前アセスメント   病態と術前検査から予測される術後合併症のリスク  麻酔や術式から予測される術後合併症のリスク  ２）術前に必要な看護  術前OR・訓練・準備  ３）術後ベッドや部屋の準備  ２．胃がんで腹腔鏡下幽門側胃切除術を受ける患者の  術後看護  １）術中・術後アセスメント  術中及び術後の情報から予測される術後合併症の判断  ２）術直後（帰室時の看護）  ３）術後１日目の初回離床時の看護  点滴・ドレーン等留置のある患者の寝衣交換  ３．胃がんで腹腔鏡下幽門側胃切除術を受ける患者の  回復期の看護   1. 胃切除に伴う機能的変化、術後経過のアセスメント 2. ダンピング症候群予防のための看護（退院指導）   ４．終了試験（45分） | | | | | 講義・演習  講義  グループワーク  講義・発表  講義・演習  講義・演習  講義・演習 |
| 准看時  授業内容 | 成人看護 | | | | | |
| 教科書  参考書 | 教科書：『系統看護学講座　別巻　臨床外科看護総論』医学書院  『系統看護学講座　専門分野　成人看護学〔5〕消化器』医学書院  『系統看護学講座　専門分野　成人看護学〔1〕成人看護学総論』 医学書院  参考書：『看護診断ハンドブック』医学書院  『系統看護学講座　専門分野　基礎看護学〔4〕臨床看護総論』医学書院 | | | | | |
| 評価方法 | 学習成果物　70点　筆記試験　30点 | | | | | |
| 関連科目 | 看護過程、臨床判断、臨床看護総論、解剖生理学、病態生理・病理学、疾病と治療Ⅱ、成人看護学概論、成人看護援助論Ⅰ、フィジカルアセスメント演習、診療に伴う技術 | | | | | |
| 備考 | 成人看護学実習での活用ができるように、個人ワークおよびグループワークを通して、周手術期の看護の展開について理解を深めていきましょう。 | | | | | |